

稲作だより

～第9号 出穂期管理編～

高温が予想されています！ 穂揃期以降は飽水管理を!!

稲は概ね出穂期を迎えており、北村山地域の出穂盛期は8月4日で平年より2日早く、昨年並みの出穂期となっています。8月1日発表の1か月予報では、向こう1か月(8月3日～9月2日)の気温は高く、特に前半はかなり高い見込みです。穂揃期以降は飽水管理を徹底し、根の機能維持を図りましょう。また、本年も高温により刈取適期が早まると予想されます。早めに収穫の準備を始めましょう。

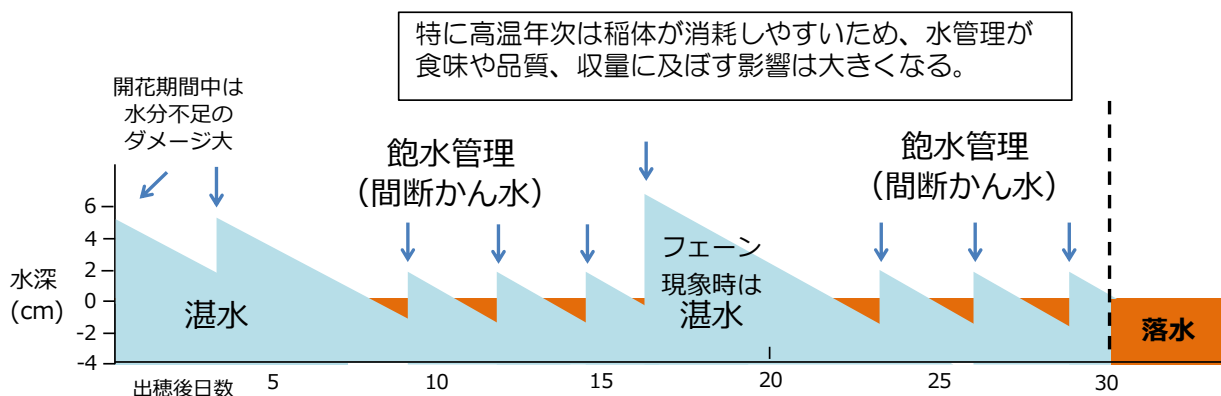
1 水管理が良食味・高品質米生産のカギ!!

- 稲は開花・受精期に最も水を必要とし、最も乾燥に弱い時期です。出穂期前後のおおよそ7日間は2～5cmの湛水管理とします。
- 向こう1か月は気温が高く経過することが予想されています。穂揃期以降は水を張りっぱなしにせず、きめ細かに間断かん水、飽水管理を徹底し、根の機能維持を図りましょう。
- 効率的に水管理を行うため、必要に応じて作溝の手直しを行いましょう。



飽水管理の様子

《出穂期以降の水管理(イメージ)》



※7月25日から大雨により、水路等の損壊が見られる地域があります。状況を確認しつつ、今後の用水確保について地域で話し合い、用水を有効に利用するための対策を講じましょう。

2 斑点米カメムシ類の対策徹底を!!

- 7月25日に病害虫防除所から斑点米カメムシ類の注意報が発表されました。
- 出穂状況をよく確認し、穂揃期及び穂揃期7～10日後の2回の基本防除を徹底しましょう。例年、被害がみられるところでは、追加防除を行いましょう。
- 水田内にイヌホタルイやノビエが多く残っている場合は、斑点米カメムシ類の水田内での発生が多くなるので注意してください。

熱中症に注意!! 「もう少し」と思う時に休憩し、水分を補給しましょう。